

平成30（2018）年度

第六期 収支決算書

平成29年4月 1日から
平成30年3月31日まで

公益財団法人 大阪交通災害遺族会

平成30年度 貸借対照表

平成31年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	5,465,606	4,857,470	608,136
流動資産合計	5,465,606	4,857,470	608,136
2. 固定資産			
(1)基本財産			
投資有価証券	9,963,100	9,963,100	0
当座預金	36,900	36,900	0
基本財産合計	10,000,000	10,000,000	0
(2)特定資産			
交通遺児健全育成活動基金	183,854,292	183,384,817	469,475
パンジー基金	89,454,444	88,461,644	992,800
佐倉井基金	28,010,827	27,684,577	326,250
高野基金	61,219,880	60,673,772	546,108
森田美智子基金	13,861,802	13,702,302	159,500
緊急援護資金	4,374,625	4,374,625	0
育英資金	35,745,239	36,565,703	△ 820,464
貸倒引当金	△ 5,956,233	△ 5,525,341	△ 430,892
職員退職引当預金	5,713,651	5,708,201	5,450
特定資産合計	416,278,527	415,030,300	1,248,227
(3)その他固定資産			
器具備品	29,596	41,329	△ 11,733
電話加入権	80,000	80,000	0
その他固定資産合計	109,596	121,329	△ 11,733
固定資産合計	426,388,123	425,151,629	1,236,494
資産合計	431,853,729	430,009,099	1,844,630
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	231,494	140,647	90,847
未払金	506,072	236,270	269,802
流動負債合計	737,566	376,917	360,649
2. 固定負債			
退職給付引当金	10,669,600	8,659,490	2,010,110
固定負債合計	10,669,600	8,659,490	2,010,110
負債合計	11,407,166	9,036,407	2,370,759
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄附金	410,564,876	409,322,099	1,242,777
指定正味財産合計	410,564,876	409,322,099	1,242,777
(うち基本財産への充当額)	—	—	—
(うち特定資産への充当額)	(410,564,876)	(409,322,099)	—
2. 一般正味財産	9,881,687	11,650,593	△ 1,768,906
(うち基本財産への充当額)	(10,000,000)	(10,000,000)	—
(うち特定資産への充当額)	—	—	—
正味財産合計	420,446,563	420,972,692	△ 526,129
負債及び正味財産合計	431,853,729	430,009,099	1,844,630

平成30年度 決算書(正味財産増減計算書内訳表)
平成30年4月1日から平成31年3月31日まで
公益財団法人 大阪交通災害遺族会

単位:円

科目	当年度	前年度	増減	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	20,000	40,000	△ 20,000	
特定資産運用益	9,807,031	5,288,154	4,518,877	
受取寄付金	9,400,108	10,585,510	△ 1,185,404	
補助金収益	326,000	732,000	△ 406,000	
受取寄付金等振替額	820,464	892,608	△ 72,144	
雑収益	199,719	488,419	△ 288,700	
経常収益計	20,573,320	18,036,691	2,536,629	
(2) 経常費用				
① 事業費				
給料手当	10,570,826	10,722,289	△ 151,463	
退職給付費用	1,989,502	793,581	1,195,921	
福利厚生費	1,876,302	1,770,360	△ 94,058	
旅費交通費	1,381,909	1,194,736	187,171	
通信運搬費	836,809	734,459	102,350	
消耗什器備品費	0	0	0	
賃借料	1,323,666	1,082,606	241,060	
光熱水料費	179,545	182,565	△ 3,020	
支払手数料	15,834	17,598	△ 1,764	
雑費	411,367	415,493	△ 4,126	
会場費	485,958	1,297,354	△ 831,696	
材料費	7,837	10,458	△ 2,821	
記念品費	447,434	335,430	112,004	
奨学祝金	0	325,000	△ 325,000	
製本印刷費	1,094,828	1,073,996	21,432	
謝礼金	80,000	90,000	△ 10,000	
損害保険料	104,866	110,864	△ 5,998	
減価償却費	11,733	11,883	△ 150	
育英資金一部免除金	816,000	889,000	△ 72,000	
事業費計	21,313,516	21,026,074	287,442	
② 管理費				
給料手当	674,734	684,401	△ 9,667	
退職給付費用	120,808	48,739	71,869	
福利厚生費	107,001	113,002	△ 6,001	
旅費交通費	15,671	66,907	△ 51,236	
通信運搬費	11,048	9,375	1,673	
消耗什器備品費	0	0	0	
賃借料	68,962	68,960	2	
光熱水料費	11,462	11,653	△ 191	
支払手数料	716	774	△ 58	
雑費	16,708	17,716	△ 1,008	
損害保険料	1,800	1,800	0	
管理費計	1,028,710	1,023,327	5,383	
経常費用計	22,342,226	22,049,401	292,825	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,768,906	△ 4,012,710	2,243,804	
投資有価証券評価損益等	0	11,570	△ 11,570	
評価損益等計	0	11,570	0	
当期経常増減額	△ 1,768,906	△ 4,001,140	2,243,804	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 1,768,906	△ 4,001,140	2,243,804	
一般正味財産期首残高	11,650,593	15,651,733	△ 4,001,140	
一般正味財産期末残高	9,881,687	11,650,593	△ 1,768,906	
II 指定正味財産増減の部				
受取寄附金等	0	0	0	
指定正味財産評価損益等	2,063,241	3,419,030	△ 1,355,789	
一般正味財産への振替額	△ 820,464	△ 892,608	72,144	
当期指定正味財産増減額	1,242,777	2,526,422	△ 1,283,645	
指定正味財産期首残高	409,322,099	406,795,677	2,526,422	
指定正味財産期末残高	410,564,876	409,322,099	1,242,777	
III 正味財産期末残高	420,446,563	420,972,692	△ 526,129	

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券：償却原価法（定額法）を採用している。

その他有価証券：時価のあるものは決算日の市場価格に基づく時価法を採用している。

(2) 固定資産等の減価償却の方法

器具備品：定率法による減価償却を実施している。

(3) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

総平均法による原価法を採用している。

(4) 引当金の計上基準

貸倒引当金：緊急援護資金及び育英資金の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。

退職給付引当金：職員の退職金の支給に備えるため、期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産	10,000,000	0	0	10,000,000
小計	10,000,000	0	0	10,000,000
特定資産				
交通道児健全育成活動基金	183,384,817	145,387,049	144,917,574	183,854,292
パンジー基金	89,481,644	14,410,200	13,417,400	89,454,444
佐倉井基金	27,684,577	4,495,500	4,169,250	28,010,827
高野基金	60,873,772	11,928,253	11,382,145	61,219,880
森田美智子基金	13,702,302	2,197,800	2,038,300	13,861,802
緊急援護資金	4,374,625	808,000	808,000	4,374,625
育英資金	36,565,703	9,863,638	10,684,102	35,745,239
貸倒引当金	△ 5,525,341	5,525,341	5,956,233	△ 5,956,233
職員退職積立金	5,708,201	5,450	0	5,713,651
小計	415,030,300	194,421,231	193,173,004	416,278,527
合計	425,030,300	194,421,231	193,173,004	426,278,527

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産	10,000,000	0	10,000,000	
小計	10,000,000	0	10,000,000	0
特定資産				
交通道児健全育成活動基金	183,854,292	183,854,292	0	0
パンジー基金	89,454,444	89,454,444	0	0
佐倉井基金	28,010,827	28,010,827	0	0
高野基金	61,219,880	61,219,880	0	0
森田美智子基金	13,861,802	13,861,802	0	0
緊急援護資金	4,374,625	4,374,625	0	0
育英資金・育英基金	35,745,239	35,745,239	0	0
貸倒引当金	△ 5,956,233	△ 5,956,233	0	0
職員退職積立金	5,713,651	0	0	5,713,651
小計	416,278,527	410,564,876	0	5,713,651
合計	426,278,527	410,564,876	10,000,000	5,713,651

5. 担保に供している資産
担保に供している資産はない。

6. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高 (単位:円)

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
器具備品	1,189,219	1,159,623	29,596
合 計	1,189,219	1,159,623	29,596

7. 保証債務等の偶発債務
保証債務はない。

8. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価、及び評価損益 (単位:円)

科 目	帳簿価格	時 価	評価損益
利付国債(20年)	9,983,100	10,286,000	322,900
合 計	9,983,100	10,286,000	322,900

9. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高 (単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
Co-aeいふれあい基金	大阪厚生信用金庫	0	100,000	100,000	0	—
クリスマスの集い助成金	大阪府共同募金会	0	199,000	199,000	0	—
NHK歳末たすけあい	大阪府共同募金会	0	27,000	27,000	0	—
合 計		0	326,000	326,000	0	

10. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳 (単位:円)

内 容	金額
経常収益への振替額 育英資金一部免除等による振替額等	820,464
合 計	820,464

11. 関連当事者との取引の内容
該当事項はない。

12. 重要な後発事象
該当事項はない。

□貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細については、財務諸表の注記3.に記載をしているため省略する。

2. 引当金の明細

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
貸倒引当金	5,525,341	5,956,233	5,525,341	0	5,956,233
退職給付引当金	8,859,490	2,010,110	0	0	10,669,600

平成30年度 財産目録

平成31年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
1. 流動資産			
現金預金			
現金	平元保管	運転資金として	26,412
当座預金	りそな銀行大手支店	運転資金として	1,149,277
普通預金	三井住友銀行大阪公務部	運転資金として	2,452,873
	りそな銀行大手支店	運転資金として	183,593
	大和ネクスト銀行毘沙門支店	運転資金として	724,578
	大阪厚生信用金庫	運転資金として	25,925
	ゆうちょ銀行	運転資金として	442,427
	大阪貯金事務センター	運転資金として	460,521
流動資産 合計			5,465,806
2. 固定資産			
(1)基本財産			
投資有価証券	第156回利付国債(20年)	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業に使用している	9,963,100
当座預金	りそな銀行大手支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業に使用している	36,900
基本財産 合計			10,000,000
(2)特定資産			
交通遺児健全育成活動基金			
投資有価証券	第143回利付国債(20年)	交付者の定めた用途に充てるために保有している資金であり、運用益を公益目的事業に使用している	86,149,728
	第44回利付国債(20年)	交付者の定めた用途に充てるために保有している資金であり、運用益を公益目的事業に使用している	66,272,461
	第52回利付国債(30年)	交付者の定めた用途に充てるために保有している資金であり、運用益を公益目的事業に使用している	30,182,250
普通預金	大和ネクスト銀行毘沙門支店	交付者の定めた用途に充てるために保有している資金であり、運用益を公益目的事業に使用している	403,700
普通預金	三井住友銀行大阪公務部	交付者の定めた用途に充てるために保有している資金であり、運用益を公益目的事業に使用している	208,900
定期預金	大阪厚生信用金庫	交付者の定めた用途に充てるために保有している資金であり、運用益を公益目的事業に使用している	637,253
小計			183,854,292
バンジー基金			
投資有価証券	第143回利付国債(20年)	交付者の定めた用途に充てるために保有している資金であり、運用益を公益目的事業に使用している	88,271,600
定期預金	大阪厚生信用金庫	交付者の定めた用途に充てるために保有している資金であり、運用益を公益目的事業に使用している	1,182,844
小計			89,454,444
佐倉井基金			
投資有価証券	第145回利付国債(20年)	交付者の定めた用途に充てるために保有している資金であり、運用益を公益目的事業に使用している	27,569,250
定期預金	大阪厚生信用金庫	交付者の定めた用途に充てるために保有している資金であり、運用益を公益目的事業に使用している	441,577
小計			28,010,827
高野基金			
投資有価証券	第143回利付国債(20年)	交付者の定めた用途に充てるために保有している資金であり、運用益を公益目的事業に使用している	36,031,180
	第45回利付国債(30年)	交付者の定めた用途に充てるために保有している資金であり、運用益を公益目的事業に使用している	18,763,281
	杏の実(ハイグレート・オセアニア・ホト・オープン)他	交付者の定めた用途に充てるために保有している資金であり、運用益を公益目的事業に使用している	6,212,218
定期預金	大阪厚生信用金庫	交付者の定めた用途に充てるために保有している資金であり、運用益を公益目的事業に使用している	213,201
小計			61,219,880

森田美智子基金			
投資有価証券	第145回利付国債(20年)	交付者の定めた用途に充てるために保有している資金であり、運用益を公益目的事業に使用している	13,478,300
定期預金	大阪厚生信用金庫	交付者の定めた用途に充てるために保有している資金であり、運用益を公益目的事業に使用している	383,502
小計			13,861,802
緊急援護資金			
普通預金	ゆうちょ銀行	交付者の定めた用途に充てるために保有している資金であり、緊急援護資金に使用している	2,065,625
緊急援護資金貸与金		交付者の定めた用途に充てるために保有している資金であり、緊急援護資金の貸与者への貸与残高である	2,309,000
小計			4,374,625
育英資金			
普通預金	ゆうちょ銀行	交付者の定めた用途に充てるために保有している資金であり、奨学資金に使用している	5,988,089
郵便振替	大阪貯金事務センター	交付者の定めた用途に充てるために保有している資金であり、奨学資金に使用している	17,000
育英資金貸与金		交付者の定めた用途に充てるために保有している資金であり、奨学資金の貸与者への貸与残高である	29,742,150
小計			35,745,239
貸倒引当金		貸与金の貸倒に備えたもの	△ 5,956,233
職員退職引当預金			
定期預金	大阪厚生信用金庫	従業員に対する退職金の支払いに備えたもの	5,713,651
小計			5,713,651
特定資産 合計			416,278,527
(3)その他固定資産			
器具備品	パソコン等	公益目的保有財産であり、公益目的事業及び管理事業で使用している	29,596
電話加入権	2回線	公益目的保有財産であり、公益目的事業及び管理事業で使用している	80,000
その他固定資産 合計			109,596
固定資産 合計			426,388,123
資産合計			431,853,729
1. 流動負債			
預り金		社会保険、源泉所得税預り等	231,494
未払金		社会保険、携帯電話代	508,072
流動負債 合計			737,566
2. 固定負債			
退職給付引当金		従業員に対する退職金の引当金	10,669,600
固定負債 合計			10,669,600
負債合計			11,407,166
正味財産			420,446,563

監査報告書

平成31年 4月26日

公益財団法人大阪交通災害遺族会

理事長 丹羽 正子 殿

公益財団法人大阪交通災害遺族会

監事

北岡 博吾



監事

山田 隆之



私たち監事は、平成30年4月1日から平成31年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行について監査を行いましたので、「一般社団法人及び一般財団法人」に関する法律第197条において準用する第99条第1項並びに公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第33条第2項の規定に基づき本監査報告書を成し、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行状況について報告を受け、重要な決裁書類等を閲覧し、法人の事務所において業務及び財産の状況を調査いたしました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告を監査しました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等について監査しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ①事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ②理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上